

西川 コミュニティだより

第54号

■発行／西川地域コミュニティ協議会

電話 0256-88-5900

■発行日／令和5年6月22日

FAX 0256-78-7544

■〒959-0423

■ホームページ／<http://kasaboko.jp>

■住所／西蒲区旗屋701-2

心機一転 新たなスタート

西川地域コミュニティ協議会

会長 田中 一男



爽やかな初夏の風が吹く季節となりました。

皆様には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。新型コロナウイルス感染症防止対策により、これまで開催できなかった様々な事業がありました。

令和四年度の事業報告、決算報告、並びに令和五年度の事業計画、予算案をご審議頂き、第一号議案から第七号議案まですべてご承認いただきまして大変ありがとうございました。

昨年は、コロナ禍も少し減少する中において、縮小しながらも西川地域の中で三大イベントであります西川まつりを始めとし、時代激まつり等も行いう事が出来ました。これもひとえに地域住民の皆様方のご協力の賜物と心より感謝致しております。

今年には新型コロナウイルスも2類から5類に引き下げられましたので各部会での事業の方も昨年より充実したものになるのではないかと考えております。私達役員も一生懸命に頑張りますが、皆様方のご協力なしでは何も出来ませんので、これからも宜しくご指導ご協力をお願い致します。

さて、皆様もご承知のように少子化により升潟小学校においては、令和八年度より複式学級になるといことで、昨年コミュニティ協議会に代表の方より提言書を頂きました。西川地域小学校統廃合検討小委員会を発足させ、第三回目の検討委員会

※次頁へ



▲バラ(美里町内)



▲フレーフレー 曾根小学校運動会

■西川地域の総人口:10,506名(-46名) ■男:5,086名(-14名) ■女:5,420名(-32名) ■世帯数:4,076戸(+13戸)

()は、前号との比較(令和5年5月末日現在)

※前頁より

が終わりました。統合に関するメリット、デメリット等について審議を致しているところですが、今後は、地域住民への説明会も開催を予定しております。皆様方の幅広い意見をお聞かせ頂きまして、検討委員会で審議をしていきたいと思っております。

地域の課題は、重層化を増し、なかなか解決の糸口を見つかる事が難しい時代となっております。行政との協働を念頭に、健康づくりや地域のイベント等、コミュニティ協議会各種事業はもちろんのこと、コミュニティセンターの活性化や地域行事の実行委員会の一員として取り組んでいく所存です。皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和5年度西川地域コミュニティ協議会総会結果報告

コミュニティ協議会事務局長 七宮 晃

ようやく、通常開催となった総会でした。

重川県議会議員、堀西蒲区長をはじめ、大勢の御来賓の方々を迎えて盛大に開催することができました。ご両名からご祝辞を頂戴し、田中会長の進行

により滞りなく議事が進められ、すべての議案について承認を得ることができました。

新型コロナウイルス感染予防の観点から、これまで中止を余儀なくされたり、縮小させられたりしながらも事業を開催することができました。

今年度は、新型コロナウイルスが5類に移行されたことにより、4年前に戻って事業内容等も実施することになります。皆様には、これまで以上にコミ協の事業に参加いただき、西川地域の活性化と高齢化社会を迎える課題解決に向けた取組にご理解とご協力をお願いいたします。

なお、これまで指定管理を受けていた「体育施設関係」が外れたことにより、コミ協の人員が削除されることになりました。

コミュニティセンターには、常時管理一人一人のときがあります。事務局長は3日(基本的に火、水、金)勤務となり、これまでのようには対応できないかもしれないかもしれませんが、できるだけ疎漏のないように取り組んでいきたいと考えています。皆様のお力添えをよろしく願います。

西川地域コミュニティ協議会 役員名簿(主な役員の方々)

総務部会 会長 田中 一男 (旗屋自治会)	副会長 多田 清 (鮎第二町内会)	副会長 橋本 佑治 (美大の協議会)	副会長 高橋 良明 (三ツ屋自治会)	副会長 土田 正博 (美里町内会)	副会長 小林 喜一郎 (天淵自治会)	副会長 野沢 修 (鮎第一町内会)	副会長 七宮 晃 (見帯自治会)	副会長 安井 義典	副会長 泉 義人	副会長 橋本 佑治	副会長 目黒 恵子	副会長 渡辺 静男	副会長 高木 茂	副会長 江端 直義	副会長 灰野 繁	副会長 内藤 和範	副会長 古島 健	副会長 多賀 一郎
-----------------------	-------------------	--------------------	--------------------	-------------------	--------------------	-------------------	------------------	-----------	----------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------	----------	-----------	----------	-----------

西川地域コミュニティ協議会〈令和4年度決算報告と令和5年度予算計画〉

■令和4年度 決算報告書

(単位：円)

〈収入の部〉			〈支出の部〉		
科目	決算額	摘要	科目	決算額	摘要
会費	1,333,400	全自治会完納	総務費	1,385,332	
補助金・助成金	3,115,600	運営費補助金……………1,100,000	会議費	167,320	会議用お茶代など……………6,912 研修参加費、交通費等……………160,408
		地域活動補助金……………1,149,000	事務費	581,615	消耗品費……………94,590 通信運搬費(電話、ネット等)……………487,025
		傘ほこ人形製作……………127,000			渉外費
		健康づくり事業……………225,000	諸支出金	111,904	
		広報誌発行事業……………397,000			事業費
		緑の音楽祭……………400,000	安心安全部会	8,006	
		わんぱく相撲大会……………0	福祉保健部会	1,711,771	健康体操……………80,069 敬老祝い品……………1,602,358 カーリンコン軽運動……………29,344
		ふるさと辞典編集……………364,000	環境整備部会	613,460	小中花壇整備……………110,770 蚊・ハエ害虫駆除……………502,690
害虫駆除助成金……………502,600	地域振興部会	1,686,453	西川地域健康づくり事業 スポーツ玉入れ大会……………135,922 傘ほこ人形製作……………127,616 緑の音楽祭……………1,422,915		
受託金			1,596,000	合同敬老会(祝い品)……………1,596,000	
繰越金	921,523	前年度繰越金	広報まちおこし部会	995,120	広報誌発行……………506,000 行事カレンダー……………484,000 東京西川会郵送代……………5,120
諸収入	617,468	防犯協会助成金……………50,868			自主事業費
		集団資源回収奨励金……………352,100	予備費	0	
		緑の音楽祭協賛金……………195,000			総合計
スポーツ玉入れ大会参加費……………19,500	雑収入	83,425	コピー代金……………68,413 預金利息……………12 未来ポイント賞品……………15,000		
雑収入	83,425	コピー代金……………68,413	総合計	7,154,371	
		預金利息……………12			
総合計	7,667,416				

513,045円を令和5年度へ繰越

■令和5年度 予算(計画)

(単位：円)

〈収入の部〉			〈支出の部〉		
科目	予算額	摘要	科目	予算額	摘要
会費	1,320,000	全自治会完納を見込む(世帯400円)	総務費	1,842,400	
補助金・助成金	3,552,100	運営費補助金……………1,100,000	会議費	782,400	報償費・事務員賃金……………562,400 お茶代など……………20,000 研修参加費、部会参加費等……………200,000
		地域活動補助金……………2,452,100	事務費	300,000	消耗品費……………300,000
		傘ほこ人形製作……………200,000			印刷費・郵送費
		緑の音楽祭……………400,000	諸支出金	150,000	
		健康づくり事業……………200,000			事業費
		わんぱく相撲大会……………400,000	安心安全部会	7,000	
		代官太鼓育成……………250,000	福祉保健部会	1,730,000	敬老会事業費……………1,600,000 健康体操……………100,000 カーリンコン軽運動……………30,000
		広報誌発行……………400,000	地域振興部会	2,230,000	傘ほこ人形製作……………200,000 緑の音楽祭……………1,200,000 西川地域健康づくり事業 スポーツ玉入れ大会……………130,000 わんぱく相撲大会……………450,000 代官太鼓育成事業……………250,000
害虫駆除補助金……………602,100	環境整備部会	805,100			一斉クリーン作戦……………30,000 蚊・ハエ害虫駆除……………602,100 学校環境整備……………200,000
受託金	1,600,000	合同敬老会……………1,600,000	広報まちおこし部会	548,000	広報誌発行・郵送料等……………548,000
繰越金	513,045	前年度繰越金……………513,045	西川ふるさと事典等	0	
諸収入	494,500	防犯協会助成金……………50,000	自主事業費	10,000	
		集団資源回収奨励金……………180,000			予備費
		スポーツ玉入れ大会参加費……………19,500	総合計	7,492,658	
緑の音楽祭協賛金……………195,000	雑収入	13,013			コピー代金等……………13,000 預金利息等……………13
わんぱく相撲大会協賛金……………50,000	総合計	7,492,658			
雑収入	13,013	コピー代金等……………13,000			
		預金利息等……………13			

【文化】

奥深き、水墨画

川崎 安藤 正雄

70の手習いで、墨の香りに誘われ足を踏み入れた。「水墨画」と言う伝統的で、奥の深い、未知なる領域に思ってもみなかった人生を経験しております。

先生や仲間とスケッチに出かけ、旅先で自然と一体となった感動を、自分の感性でより成長させ、墨の力を借りて表現したいと日々努力しております。



「天竜悠悠」
令和二年 天竜川にて



「笹川流れ」
令和三年 笹川流れにて

【高校生奮闘記】

菓子の木型展示と曾根のまちあるき

新潟工業高校・建築部の挑戦

私たちは「かのうハウス」の中にゆつたりと本などを楽しめる図書コーナーをつくるため、木材で本棚を製作しました。新入部員の初めての作業で、木の反りや曲がりなどに苦戦しながらも、なんとか全員で作りの事ができました。



製作した本箱は、4月に曾根の元老舗和菓子店の菓子の木型を飾るために使いました。木材の箱と歴史ある木型がマッチして良い雰囲気です。

7月末には第3回だいろアート展を企画しています。ぜひお越しください。



(佐藤 一輝)



私たちは

4月29日に越後曾根をまちあるきしてきました。曾根の歴史に触れながら古き良き街並みを実感することができました。

今回のまちあるきでは、曾根神社や金剛寺、代官所跡、ふれあい公園を巡り、歴史を学ぶことができました。

曾根は昔、西川を利用した物の流通が盛んであり、農業も盛んであったとお聞きしました。そのため水を司る神様を祀るなどして、町を水害から守ってきたそうです。

曾根は昔ながらの町並みを残す自然豊かで美しい所でした。歴史あふれる曾根を歩けた事はとても良い経験になりました。



(中川 凱登)



曾根小学校に新採用教員として三十五年前に赴任し、西川に家も建てました。昨年三月、遂に定年！「第二の人生」の始まりです。おかげさまで、子ども達も全員仕事に就き、独立しています（西川にいないのは、寂しいですが）。まず、これまでの井口家の「子育て」を紹介します。少しでも参考になればと思います。

① 本好きにさせるために

「本を好きにさせる」というのは親が我が子に送ることのできる、一番のプレゼントのように思います。読んだ活字の量が大切です。伸びる子は、圧倒的な読書量があります。井口家では、各トイレに本棚を作り、フロアランプを置いて、本を読める環境を作っていました。もちろん両親が読んでいる姿を見せることも大切です。「五十音表」を作り、覚えた字から折り紙をはっていきました。子どもはすぐ覚えます。長男は、二歳で平仮名を覚え、三歳で絵日記をかいていました。三人とも勉強に関して、大きな

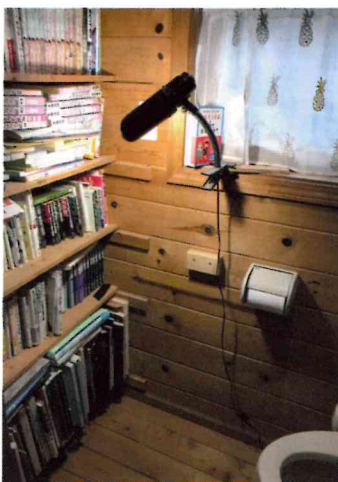
苦労がなかったのは、この幼児期に平仮名を覚え、本が大好きになった経験が大きいです。家を西川に新築してからは、居間にテレビを

置きませんでした。テレビに子育てさせることを避けたかったからです。妻は、親子の会話を大切に、いつも読み聞かせをしていました。地域の子育てのサークルの立ち上げにも参加していました。ちなみに井口家ではテレビゲームもありませんでした。今思うと、これも大正解だったと思います。

② 社会性を育むために

子ども達が人との関わりに積極的になるよう、地域の行事や施設のイベントに積極的に参加させました。最初は二泊二日の簡単なキャンプからスタートです。仲のよい友達と一緒に。末娘は、五年生の夏休み、妙高自然の家のサイクリングキャンプ（十五泊十六日）に参加しました。毎日テント泊をしながら、佐渡までシーカヤックで横断してまた戻ってくるというチャレンジです。十歳の娘にとっては大変ハードでしたが、なんと十二時間かけての横断に成功！これは、彼女にとって生涯忘れることのできない経験となったそうです。また、家族でも日本全

国、キャンプの旅をしていました。車で行き当たりばったり、面白い場所を探しながらの旅です。なるべく人と関わりながら旅を続けました。南は鹿児島から北は北海道まで、テントを持って回りました。これは、長男が小学校四年生まで行っていました。



トイレライブラリー

(1階、2階ともにライトと本棚を設置。天板を置いてテーブルも作れます。)

【幼児教育】

地域内の幼稚園・保育園のシリーズ③①

ガンバって かいだよ！

和光幼稚園



「だいすきなママ」

ママとふうごをかい
たんだ。なかよしして
いるところなんだよ!!

石川 楓梧
(年少組)

「ちゅーりっぷと
つんとむし」

たくさんのむしがあ
つまってきたよ!

毛島 大智
(年中組)



「やぐら」

むしたちがおはなみし
ているよ!

佐藤 大空
(年長組)

【大切な郷土史料①】

西蒲・曾根郷ゆかりの文人研究会

西蒲・曾根郷ゆかりの文人研究会

『西川郷土史考』(R2刊)、『越後西川ふるさと事典』(R4刊)を編集し、新潟県尋常師範学校で新保正與の教えを受けた一人・佐藤忠三郎(二八七七〜一九五二)の元にあつた多くの貴重な郷土史料のご提供があつた。佐藤家は正與が江戸から帰郷して最初に私塾を開いた、四ツ合村山口新田(旧潟東村)の隣・水沢新田の組頭だつた。また忠三郎は正與の子息・磐次と同年代で親交を結んだ人物である。

今回は東京美術学校校卒・高橋涉之介制作の洋画「鎧潟」(額32×41cm)を紹介する。作者は旧中之島町生まれの勤王の志士、のち長岡に誠意塾を開き、多くの逸材を育てた高橋竹之介(一八四二〜一九〇九)の子ともだ。

鎧潟の参考書や古い写真は数多いが、本作のように柔らかな明るい光彩で描かれた鎧潟は見たことがない。額縁裏には旧蔵者佐藤忠二郎氏(忠三郎の孫)の解説文が貼つてあるが、この分もまた潟を身近に思う名文でぜひ味わいお読みいただきたい。佐藤家と高橋家は親戚で、本作は作者涉之介が水沢の佐藤家を訪れた時に弥彦山を遠眺してスケッチしたとされる。

「当時鎧潟は昔よりかなり狭まつたとは云へ、

西蒲原郡最大の潟湖で満々たる水を湛え、夏には蓮が潟周辺を覆い、人々はその花を盆花としてお墓に供へ、又むし熱い夜には舟を漕ぎ出し、湖面を渡る涼風と水面に映る月の光にしばし休息を楽しんだものである(この事を潟遊山と云つた)。晩秋ともなれば無数の水鳥が渡つて来たので、猟師は家鴨を囿として繋いでおき近寄つて来た野鴨を仮設の鉄砲打ち小屋から狙いつつた。その銃声が早朝のしじまを破つて聞こえて来出すと、部落の人達は雪の季節も間近いと、外仕事に精を出すのであつた。

しかしその鎧潟も時流と共に遊水池としての洪水調節の役割を果たし終へ、昭和三十年に干拓事業に着手し、十五年後の昭和四十五年に完工し、現在の広大な美田からは当時を想像することも出来な



高橋涉之介作 「鎧潟」

い。往事茫々と云うべきか。平成六年四月廿一日記(額縁裏の文より)。

【人権】

人権擁護委員について

神村 博

人権擁護委員は、法務大臣が委嘱する民間ボランティアの委員です。約二万四千人の委員が、全国各地に配置されています。農家、自営業、住職、元市役所職員、会社員、教員その他様々な経歴、分野の方が地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決の手伝いをしたり、地域の皆さんが人権について関心を持つてもらえるように啓発活動を行っています。

民生児童委員、保護司などの福祉関係の団体と比べて知名度は高くありませんが、目立たないけど必要不可欠なものです。人権擁護委員制度がスタートして、74年経過しています。国の老舗の啓発、相談機関として広く役立つています。

最近はいじめ、児童虐待、インターネット上の誹謗中傷など、様々な人権問題が、複雑多様化し、また、社会情勢の変化に伴い、新たな人権課題も生じています。時代とともに必要な一歩をキャッチし相互尊重の精神でがんばりたいと思います。



人権イメージキャラクター
「AKENあゆみちゃん-人KENまもる君」

新潟地方法務局
新潟県人権擁護委員連合会
男女共同参画委員

西蒲区の魅力発信動画「しってっか西蒲区」

西蒲区自治協議会 まちづくり産業部会
事務局 西蒲区地域総務課 真島 洋



西蒲区自治協議会まちづくり産業部会では、西蒲区の魅力を発信する動画を作成しました。

「西蒲区の魅力発信がまだまだ足りない。」「自分の住んでいる地域以外のことにはあまり知らない。」といった課題を解決するため、日本海や角田山、田園風景、温泉、歴史、文化など西蒲区の魅力をピックアップした動画を作成することとなりました。

撮影には、ドローンを活用することによって、普段見ている景色を別の角度から見ることで、西蒲区の魅力を再認識・発見することができました。

また、動画は、区内の地域コミュニティ

しってっか西蒲区

新潟市 西蒲区自治協議会

協議会とも相談させていただきながら、地域ならではのイベントや見どころなどの紹介をさせていただきました。

西川地区は「西川まつり」と「越後にしかわ時代激まつり」そして、「下山地区の賽の神」の映像が収録されています。

映像は新潟市の公式サイトでの配信の他、西川地域コミュニティ協議会や西川図書館でDVDの貸し出しも行っていますので、ぜひ、ご覧ください。



【図書館】

隠れた展示「認知症にやさしい本棚」はご存じですか。

西川図書館 水野 亜紀

西川図書館には旬な話題を取り上げた展示が複数あります。今回はその中の一つ、「認知症にやさしい本棚」を紹介します。

新潟市で一番高齢化が進んでいる区は西蒲区です。令和2年の西蒲区の高齢化率は33%でした。西川図書館では平成30年に新潟市立図書館唯一の「認知症にやさしい本棚」を設置しました。昨年度末には広さを2倍に拡大し、情報を探しやすくなりました。ここでは認知症予防の本や支援に関する本はもちろん、関係団体の協力により相談先の情報や「おもしろクイズ」（頭の体操）、「地域の茶の間」の開催場所などを掲示しています。先日、そのひとつの茶の間に何って読みまかせや本の紹介をしてきました。一緒におはなしをして私も楽しかったです。

認知症は地域で解決していく課題です。一人で抱え込まず、認知症について知る入口として、まずはのぞきにきてください。お待ちしております。



【暮らし】

鎧郷小 女子会を開催して

神奈川県茅ヶ崎在住 渡邊恵美子(横島出身)

コロナも終息に向かい、昭和32年に鎧郷小 学校を卒業以来、初めてとなる「女子会」を開催しました。

入学時61名、アルバムを探し、しばらく眺めた。クラスのムードメーカーだった子、一番足の速かった子は、すぐに思い出せたのは男子ばかり。6年間兄弟のように、一緒に学校生活を送ったのに、女子は、おとなしく、また、部落毎に通学した為か、6年間一度も話した事の無い人も。みんな、今どうしているのかな？昨年11月末、懐かしさで女子会を計画。新潟の親友に相談。「そうだね！春になれば、コロナもどこかに飛んで行くよネ。4月スジ播きの前にネ。」と背中を押され、早速、お誘い電話をかけた。足が痛い、腰が痛い、等不参加の返事ばかり。「80の坂越えられないかも？春に集まろうヨ。」と合点。努力が実り、開催できました。

思い出写真でのスライドショーでスタート。マスク無の笑顔で「一年遅れの喜寿祝を女子会」を実施できました。皆様も勇気を出して楽しい思い出作りをお勧めします。



西蒲区表彰

- ◎自治会長等永年勤続表彰 神村 博(水道町)
- ◎地域社会・地域産業の振興 剣物 稔(大潟)
- ◎保健衛生・社会福祉の増進 永寿会(鮎第二)
- ◎文化・体育の向上 高森レイ子(鮎第二)
- 入澤輝夫(旗屋) 代官太鼓 鼓調
- 西川ちびっ子 煎茶教室
- ◎防犯・人命救助の活動 江端 繁(鮎第三) 甲 勝義(鮎第二)
- 本間 邦朗(鮎第三) 石山 勲(朝日町)



第77回県美術展覧会 西川地域の入賞者の皆様方

- 【いがた未来賞】彫刻 「帰る」 重川 實 (川崎)
- 【入選】日本画 渡辺 達也(七番町) 安藤 正雄(川崎)
- 書道 田中 紅龍(鮎)
- 写真 山川 直衛(鮎) 渡部 貴志(一番町)
- 佐野 洋司(四番町) 小林ゆり子(押付)
- 中澤 敏男(六番町)

編集後記

小誌にも、印刷会社から値上げ要請がありました。何とか、今の8頁体裁での発行を、と考えているところですが、おそらく紙質を変えていくことになると思います。値上げの波を実感する、この頃です。

【編集委員】◎江端 繁◎灰野直義 榎本 博 土田正博